

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Chemlease® 70 EZ

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : ケムトレンドジャパン株式会社
〒650-0044
神戸市中央区東川崎町1丁目3番3号
神戸ハーバーランドセンタービル 16F
Tel: +81-78-361-9700
Fax: +81-78-361-9702

SDS 担当者のメールアドレス : sales.japan@chemtrend.com

#国内連絡先 :

緊急連絡電話番号 : +81-78-361-9700

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 離型剤

使用上の制限 : 工業用のみ。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

引火性液体 : 区分 2

皮膚刺激性 : 区分 2

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 3 (麻醉作用)

誤えん有害性 : 区分 1

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 3

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分 2

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H315 皮膚刺激。
H336 眠気又はめまいのおそれ。
H402 水生生物に有害。
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き

: **安全対策:**

P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P273 環境への放出を避けること。

応急措置:

P301 + P310 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。
P331 無理に吐かせないこと。
P370 + P378 火災の場合: 消火するために耐アルコール性フォーム、炭酸ガス又は水ミストを使用すること。
P391 漏出物を回収すること。

保管:

P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄:

P501 内容物/容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
水素化軽質石油ナフサ	64742-49-0	>= 60 - < 70	9-1694
軽質炭化水素系ナフサ	64742-47-8	>= 25 - < 30	9-1700
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	>= 2.5 - < 10	9-2486
メチルアミン	74-89-5	< 0.1	2-129

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。
新鮮な空気のある場所へ移す。症状が続く場合には、医療機関で診察を受ける。
患者を暖かく安静にしておく。
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
気道を確保する。
呼吸が不規則であったりとまったりした場合は、人工呼吸を行う。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服を脱がせる。
直ちに石けんと多量の水で洗い流す。
刺激があり継続する場合には直ちに医療機関で診察を受ける。
再使用前に衣服を洗う。
靴を再使用する前に完全に洗う。
- 眼に入った場合 : 直ちにまぶたの下も含め十分な水で、少なくとも 10 分間洗う。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所へ移す。
間違えて飲み込んでしまった場合は、医師の指示を受ける。
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
気道を確保する。
無理に吐かせないこと。
口を水ですすぐ。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
飲み込んだ場合には吸引性呼吸器有害性を引き起こす一 肺に侵入し損傷を引き起こす。

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21

- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 中枢神経系抑鬱
皮膚から吸収されることがある。
飲み込んだ製品を吐かせた場合には、肺に入るおそれがある。
健康被害の発現が遅れることがある。
皮膚刺激。
吸入により次の症状が起こることがある :
意識消失
めまい
眠気
頭痛
吐き気
倦怠感
皮膚接触により次の症状が起こることがある :
紅斑
吸引すると肺浮腫と肺炎を起こす可能性がある。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用すること。
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 火災により発生するおそれ:
炭素酸化物

物質が排水施設に流れ込まないようにする。
蒸気がたまると爆発性濃縮物が生成されるので要注意。蒸気は低いところにたまる可能性あり。
- 有害燃焼副産物 : 炭素酸化物
窒素酸化物 (NOx)
金属酸化物
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。
汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
散水して容器/タンクを冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。
保護具を使用する。
製品の分解物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性が

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21

ある。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護
具及び緊急時措置 : 安全な場所に避難する。
保護具を使用する。
十分な換気を確保する。
付近の発火源となるものを取り除く。
蒸気やスプレーミストを吸い込まない。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
項目 7 および 8 に記載した保護措置を参照する。
- 環境に対する注意事項 : 土壌、表面、または地下水との接触を避ける。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び
機材 : 漏出物を閉じ込め、不可燃性の吸収剤（砂、土、珪藻土、バーミキュライト等）を使用して集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる（項目 13 を参照）。
防爆用工具を使用しなければならない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 火災及び爆発の予防 : 熱や発火源から遠ざける。
- 安全取扱注意事項 : 防爆装置のある場所でのみ使うこと。
適切な換気がない場所では使用しない。
蒸気やスプレーミストを吸い込まない。
通気が不十分な場合は、適切な呼吸装置を着用すること。
皮膚や眼への接触を避けること。
個人保護については項目 8 を参照する。
火、火花および熱した表面に近づけないようにする。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
休憩前と製品取扱い直後には手と顔を洗う。
移し変え作業を始める前に、全ての装置がアースしていることを確認する。
目や口に入れない、また皮膚に付けない。
皮膚や衣服に付けない。
摂取しない。

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21

火花をおこす機械を使用しない。
適切な換気がなされるまで、使用されたりまたは保管されている場所には入らない。
再梱包してはいけない。
空の容器を再使用しない。
これらの安全に関する指示は、製品が残留している可能性のある空容器にも適用される。
使用しない場合には容器を閉めておく。

接触回避 : 酸化剤

衛生対策 : 取り扱い後は、顔、手、および露出した皮膚をすべてよく洗うこと。

保管

安全な保管条件 : 納品時の容器でのみ保管する。
使用しない場合には容器を閉めておく。
酸化剤から離れた、涼しい場所に保管すること。
乾燥した、涼しい、換気のよい場所で保管する。
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。
各国の規定に従って保管する。
適切なラベルのついた容器に入れておく。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
水素化軽質石油ナフサ	64742-49-0	OEL-M (ミスト)	3 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度) (2020-10-09)
	詳細情報: 発がん物質, 「第1群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である。この群に分類される物質は、疫学研究からの十分な証拠がある。			
軽質炭化水素系ナフサ	64742-47-8	OEL-M (ミスト)	3 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度) (2012-01-01)
	詳細情報: 発がん以外の健康影響を指標として許容濃度が示されている物質。III. 発がん性分類の前文参照, 発がん物質, 「第1			

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20

		群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である。この群に分類される物質は、疫学研究からの十分な証拠がある。		
		OEL-M (ミスト)	3 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度) (2020-10-09)
		詳細情報: 発がん物質, 「第1群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である。この群に分類される物質は、疫学研究からの十分な証拠がある。		
		TWA	200 mg/m ³ (総炭化水素蒸気)	ACGIH (2010-03-01)
メチルアミン	74-89-5	OEL-M	6 ppm 6.5 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度) (2020-10-09)
		TWA	5 ppm	ACGIH (2013-03-01)
		STEL	15 ppm	ACGIH (2013-03-01)

設備対策 : 防爆型排気ガス換気装置を備えた区域においてのみ使用する。
局所排気装置 (または適切な排気装置) が備わった場所でのみ取り扱う。

保護具

呼吸用保護具 : 蒸気を形成する場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。

手の保護具

備考 : 保護手袋 適切な手袋を選ぶには、素材のみでなく、その他の品質に関する特徴を考慮する。製造者によっても違うので、その点にも注意する。破過時間は、素材の特徴の中でも、手袋の厚さと種類によって決定されるので、その時々測定されなければならない。

眼の保護具 : サイドシールド付き保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 適した身体防具を選ぶには、そのタイプ、危険物質の濃度や量そして特定の作業場を考慮する。

保護対策 : 特定の作業場に存在する危険物質の濃度および量に応じて、保護装置のタイプを選択しなければならない。

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 無色
臭い	: 炭化水素臭
臭いのしきい(閾)値	: データなし
融点/ 範囲	: データなし
沸点/ 沸騰範囲	: 104 ° C
可燃性 (固体、気体)	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界 爆発範囲の上限 / 可燃上限値	: データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	: データなし
引火点	: -7 ° C 方法: ペンスキーマルテンス密閉式引火点試験
自己発火性	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 非該当
蒸発速度	: データなし
かさ密度	: データなし
自然発火温度	: データなし
粘度 粘度(粘性率)	: データなし
動粘度 (動粘性率)	: < 20.5 mm ² /s (40 ° C)

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21

溶解度	
水溶性	: 不溶
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度 比重	: 0.72 (20 ° C) 基準物質: 水 値は計算値です。
密度	: 0.72 g/cm ³ (20 ° C)
爆発特性	: 非爆発性
酸化特性	: データなし
昇華点	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 特に言及すべき危害要因はない。
化学的安定性	: 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
避けるべき条件	: 熱、炎、火花。 長時間にわたる直射日光。
混触危険物質	: 酸化剤
危険有害な分解生成物	: 150°C以上で、微量のホルムアルデヒドが生成されることがある。

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

急性毒性（経口） : 備考: 摂取による影響には次のものが含まれることがある:

症状: 中枢神経系抑鬱

急性毒性（吸入） : 備考: 溶剤蒸気を吸入すると、めまいを起すことがある。

症状: 吸入により次の症状が起こることがある: , めまい, 眠気, 嘔吐, 疲労, めまい, 中枢神経系抑鬱

急性毒性（経皮） : 症状: 発赤, 局部炎症

成分:

水素化軽質石油ナフサ:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401

軽質炭化水素系ナフサ:

急性毒性（経口） : LD50 経口 (ラット): > 5,000 mg/kg

水素化重質石油ナフサ:

急性毒性（経口） : LD50 経口 (ラット): > 5,000 mg/kg

メチルアミン:

急性毒性（経口） : アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。
備考: 分類できない

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): 約 2.5 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト

皮膚腐食性/刺激性

製品:

備考 : 皮膚に刺激性。

Chemlease® 70 EZ

版番号 1.1 改訂日: 2023/04/21 前回改訂日: 2023/04/20 初回作成日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21

成分:

水素化軽質石油ナフサ:

種 : ウサギ
結果 : 皮膚刺激性

水素化重質石油ナフサ:

結果 : 繰り返し曝露すると、皮膚乾燥またはひび割れの発生可能性。

メチルアミン:

結果 : 皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

製品:

備考 : 眼に触れると刺激がある。

成分:

メチルアミン:

結果 : 眼に対する不可逆的影響

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品:

備考 : この情報は利用できません。

生殖細胞変異原性

製品:

in vitro での遺伝毒性 : 備考: データなし

in vivo での遺伝毒性 : 備考: データなし

発がん性

製品:

備考 : データなし

生殖毒性

製品:

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21

妊娠に対する影響 : 備考: データなし

胎児の発育への影響 : 備考: データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

製品:

備考 : データなし

成分:

水素化軽質石油ナフサ:

アセスメント : 眠気又はめまいのおそれ。

軽質炭化水素系ナフサ:

暴露の主経路 : 吸入

アセスメント : 眠気又はめまいのおそれ。

メチルアミン:

暴露の主経路 : 吸入

アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

製品:

備考 : データなし

反復投与毒性

製品:

備考 : この情報は利用できません。

誤えん有害性

製品:

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

成分:

水素化軽質石油ナフサ:

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21

軽質炭化水素系ナフサ:

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

水素化重質石油ナフサ:

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

詳細情報

製品:

備考 : 飲み込むと、上気道や胃腸の機能障害が起こる。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性 : 備考: 水生生物に有毒であり、水中環境に長期の悪影響を及ぼすことがある。

ミジンコ等の水生無脊椎動物 :
に対する毒性 備考: データなし

藻類/水生生物に対する毒性 :
備考: データなし

微生物に対する毒性 : 備考: データなし

成分:

水素化軽質石油ナフサ:

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 長期（慢性） : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20

軽質炭化水素系ナフサ:

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期（急性） : 水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性） : 長期継続的影響によって水生生物に有害。

水素化重質石油ナフサ:

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期（急性） : 水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性） : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

残留性・分解性

製品:

生分解性 : 備考: データなし

物理化学的除去性 : 備考: データなし

成分:

水素化軽質石油ナフサ:

生分解性 : 備考: データなし

軽質炭化水素系ナフサ:

生分解性 : 結果: 急速分解性がある

水素化重質石油ナフサ:

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。

メチルアミン:

生分解性 : 結果: 易分解性。

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21

生体蓄積性

製品:

生体蓄積性 : 備考: この混合物には、残留性、生物濃縮性および毒性がある (PBT) 物質は含まれていない。
この混合物には、極めて高い残留性および極めて高い生物蓄積性の (vPvB) 物質は含まれていない。

成分:

水素化軽質石油ナフサ:

生体蓄積性 : 生物濃縮因子 (BCF) : 10 - 2,500

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 2.2 - 5.2
(log 値)

軽質炭化水素系ナフサ:

生体蓄積性 : 備考: データなし

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし
(log 値)

水素化重質石油ナフサ:

生体蓄積性 : 備考: データなし

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし
(log 値)

メチルアミン:

生体蓄積性 : 生物濃縮因子 (BCF) : 3.16

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 約 -0.71 (20 ° C)
(log 値)

土壤中の移動性

製品:

移動性 : 備考: データなし

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20

環境中の分布 : 備考: データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

製品:

生態系に関する追加情報 : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。
家庭ごみと一緒に廃棄しない。
地域および国の規制を遵守して、危険有害廃棄物として廃棄する。

汚染容器及び包装 : 適切に空にされていない容器は未使用品と同様に処理する必要があります。
廃棄製品又は使用済み容器は地域の規制に従い廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 3295
国連輸送名 (Proper shipping name) : Hydrocarbons, liquid, n. o. s.
国連分類 (Class) : 3
容器等級 (Packing group) : II
ラベル (Labels) : Flammable Liquids
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 364
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 353

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : UN 3295

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20

国連輸送名 (Proper shipping name) : HYDROCARBONS, LIQUID, N. O. S.
(Light aliphatic naphtha, Hydrocarbons, C10-C12, isoalkanes, <2% aromatics)

国連分類 (Class) : 3
容器等級 (Packing group) : II
ラベル (Labels) : 3
EmS コード (EmS Code) : F-E, S-D
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant) : 該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

15. 適用法令

関連法規

消防法

第四類, 第一石油類, 非水溶性液体, (200 リットル), 危険等級 II

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
メチルアミン	15

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)

非該当

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	含有量 (%)	備考
石油エーテル	>=90 - <=100	-
石油ナフサ		-
ガソリン		-
鉱油		-
ミネラルスピリット	>=30 - <40	-
鉱油		-
トルエン	>=0.1 - <1	-
トルエン		-

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	備考
石油エーテル	-
石油ナフサ	-
ガソリン	-
鉱油	-
ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。）	-
鉱油	-

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

第三種有機溶剤等

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

引火性の物

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21

2023年3月31日まで

非該当

2023年4月1日から

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1: 引火性液体類

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: 引火性液体

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 供給された状態の製品には非該当。

個品輸送 : 海洋汚染物質

水質汚濁防止法

有害物質 (法第 2 条、施行令第 2 条、排出基準を定める省令第 1 条)

指定物質 (法第 2 条 4 項、施行令第 3 条の 3)

油分排出規則 (法第 2 条 5 項、施行令第 3 条の 4)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

特別管理産業廃棄物

国際規制

モントリオール議定書 : 非該当

ロッテルダム条約 (事前通 報・同意手続) : 非該当

ストックホルム条約 (残留性 有機汚染物質) : 非該当

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

ENCS : インベントリーに記載されている、または準拠している

Chemlease® 70 EZ

版番号 改訂日: 前回改訂日: 2023/04/20
1.1 2023/04/21 初回作成日: 2023/04/20 印刷日: 2023/04/21

ISHL : インベントリーに記載されている、または準拠している

16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)
日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度度)

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均
ACGIH / STEL : 短時間暴露限界
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリー; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

この安全データシートは、納品時の梱包状態、ラベル付きの製品に限り適用されます。当社の書面による明示的な許可なく、その情報を複製または改変することは禁止されています。この文書の転送は、法律上要求される範囲に限り許可されます。当社の書面による明示的な許可なく、当社の安全データシート (例: インターネットからのダウンロード用文書) を他 (特に一般) に配布することは禁止されています。当社は、法的規制に従い改訂された安全データシートをお客

Chemlease® 70 EZ

版番号	改訂日:	前回改訂日: 2023/04/20	
1.1	2023/04/21	初回作成日: 2023/04/20	印刷日: 2023/04/21

様に提供します。お客様の責任において、安全データシート、および法的要件による変更がある場合はその変更内容をお客様の顧客、従業員および製品の他の使用者に渡す必要があります。当社は第三者から使用者が受け取った安全データシートが最新であることを保証しません。この安全データシートに記載されているすべての情報および指示は当社の知る限りで作成されており、発行日に入手可能な情報に基づいています。提供される情報は、必要な安全対策に関連して製品を説明するものです。すなわち、これは特性の保証でも個々の事例に対する製品の適合性の保証でもなく、契約上の法的関係の根拠を示すものでもありません。特定の法域を対象とした安全データシートの存在は、その法域内での輸入または使用が法律で許可されていることを必ずしも意味するわけではありません。ご質問がある場合は、当社の担当営業窓口または正規販売店までお問い合わせください。